

令和元年6月19日

各位

令和元年第二回定例会を終えて（幹事長談話）

無所属 東京みらいを代表して、知事提出の全議案に賛成しました。

私たち、第20期都議会の任期も間もなく折り返しを迎えようとしています。日本が置かれている危機的な現状を打破するための牽引役として東京が果たすべき役割を鑑み、より長期的な視点が求められています。

「新たな長期計画」については、時代に左右されない揺ぎ無い将来像と社会の変化に柔軟に対応できる計画の策定に向け、1370万都民が課題認識と目指すべき将来像を共有し、その英知を結集すべく、新たな都民参加の形を模索していただきたいと考えます。

全国で多発する高齢ドライバーによる交通事故は、超高齢社会において起こりうる課題が顕在化した一つの事例と考えています。交通安全対策に関するプロジェクトチームの議論においては、今の組織体制や仕組みにとらわれることなく、超高齢社会を支えるための地域交通のあり方を見据えた議論を重ねるよう求めました。

また、選択的夫婦別姓制度の法制化を求める意見書の提出に関する請願に賛成しました。姓の変更によって影響を受けるのは圧倒的に女性が多く、その心理的・社会的な負担を取り除くことはダイバーシティの実現に重要です。住民票や運転免許証への旧姓併記に留まることなく、選択的夫婦別姓制度の法制化を国に対して求める立場であり、賛成しました。

次に、政策連携団体活用戦略については、他の団体の模範となる好事例を生み出し、改革の底上げを図ることが肝要であると考えます。先般策定された東京水道サービス株式会社の「2019年度経営方針」における、ガバナンスの強化と和製水メジャーを目指す姿勢について、成果に着目して、引き続き注視してまいります。

最後に、待機児童ゼロに向けた取り組みについて、小池知事就任後に講じた施策の効果が現れ始め、待機児童数は大幅に減少しました。今後は、公費の投入をできるだけ抑えた持続的な保育行政、保護者と児童にとっての満足度や幸福度の向上に資する保育サービスの提供という視点から、保育行政そのものの改革に向け、更なる議論・検討、取組を要望しました。

引き続き、チーム東京の一員として、前向きで未来志向の提案を重ねていきます。

無所属 東京みらい

幹事長 奥澤高広

本件に関するお問合せは、下記にお問合せください。

TEL:03-5320-7278 FAX:03-5388-1829 E-mail:team.tokyo.mirai@gmail.com